

みんなで川きれいに

「環境大学」理解深める 都 城

大淀川環境大学（NPO法人・大淀川流域ネットワークなど主催）は、都城市吉尾町の都城浄化センター清流館で18、19日あった。約30人が受講し、地域の環境団体の活動や大淀川の歴史、水質などに理解を深めた。

河川美化活動などに関わる人材育成を目的に昨年からは開

催。18日は同ネットワーク副代表理事の森下信芳さん（81）ら3人が講義した。

森下さんは、市内で環境活動に取り組む6団体を紹介。その中で、昨年の同大学受講生が中心となって始まった活動として、柳河原川クリーン会の清掃作業を取り上げた。元都城史談会会長の塩水流忠

夫さんは、市内にある観音瀬水路の掘削の歴史などを解説した。受講した同市花繰町の主婦福園順子さん（65）は「昔のきれいな川を取り戻すためにも、多くの人が活動に参加できるように頑張りたい」と話していた。



平成22年度 大淀川環境大学

大淀川の歴史や水質などについて講義があった大淀川環境大学